

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 59
秋号
平成 30 年
(2018)

環境ひらかた

クール チョイス
Cool Choice

ひらかたみんなで「エコ宣言」
～取り組みが始まっています～
みんなで参加して、
地球温暖化防止に取り組みましょう！



会報誌夏号(58号)と一緒にお届けした“ひらかたみんなでエコ宣言”シートが、お手元に置いたままになっていませんか？環境保全に繋がる9つの項目について「賢い選択(Cool Choice)」が出来ているかチェックし、出来ていない項目について「エコ宣言」してください。

「エコ宣言」に参加する事で、Cool Choiceの取り組みを進めていきたいと思っています。応募締め切りは12月31日ですが、既にたくさんの方が取り組み、「エコ宣言」されています。みなさんもぜひご参加下さい。

Cool Choice(クール チョイス)って？

2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、環境省が進めている省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用、ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取り組みの事です。

*****目次*****

ひらかたみんなで「エコ宣言」受付中	P 1
夏のインターンシップ生 活動記	P 2・3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 25	P 7
ちょっとお得なエコライフ情報	P 8

夏のインターンシップ 3名の学生が活躍しました！



ひらかた環境ネットワーク会議では、毎年夏季と春季にインターン生を受け入れています。

当法人がインターン生を受け入れるのは、社会的な役割を担いたいという思いは勿論ですが、それ以上に、若い世代に環境問題について知ってもらいたい、関わってもらいたいという思いがあるからです。とは言え、当法人にインターンシップを希望する学生がいてくれないことには話にならないのですが、この夏は3名の学生が来てくれました。

彼らの活躍と研修風景をご紹介します。



環境ミニ講座でエコクッキングを担当



ひらかた環境ネットワーク会議では、毎週何かしらのイベントがある訳ではありません。そんな中、研修期間中に「環境ミニ講座」があり、準備を含め、実際の進行を、工夫し、頑張っている様子でした。



濃密な課題に挑戦

10日間の研修を下のようなプログラムで行いました。それぞれの課題に、学生たちは真剣に取り組みました。

日程	実習場所	カリキュラム	内 容
1日目	当法人事務所	オリエンテーション	NPO法人及び当団体についての概要と活動について理解する
2日目	当法人事務所	環境の取り組み全般について	現在の取り組みを踏まえ、今後に向けての取り組みを考える
3日目	当法人事務所	実際の事業について	当法人が取り組んでいる事業について理解し、その中で自身の興味関心のある事業を抽出し、その事業をより発展・充実させていくためにできる事を考える。
4日目	当法人事務所	企画書について	事業を、より発展・充実させていくためにできる事を考え、その考えたものを企画書に仕上げていく。そのために「企画書とは」について学ぶ。
5日目	当法人事務所	企画書づくり(1)	「企画書とは」について学んだことを踏まえ、自身の興味関心のある分野の環境の取り組みを企画書としてまとめる。
6日目	当法人事務所	企画書づくり(2)	プログラムのブラッシュアップ。
7日目	当法人事務所	「環境ミニ講座」を体験	市民を対象にした啓発活動の実際に触れるとともに、活動体験をする。
8日目	当法人事務所	プレゼン準備	運営委員会でのプレゼンに向け準備
9日目	当法人事務所	運営委員会へのオブザーバー参加	運営委員会で、自身の考えた企画をプレゼン
10日目	当法人事務所	振り返り	研修期間中を振り返り、・環境問題・物事を企画する・伝える、知らせる・具体化する・実践する ということについての気づきをまとめてみる。

実際に業務を体験し、
沢山の経験をする事が出来
ました。特に企画の立案で1つ
の企画を作る為に、物事を掘り下げ
て考える方法や相手によって伝え方を変える柔軟
性が大切だと学び、まだ社会に出ていない学生のう
ちにこのような業務を経験することが出来て良か
ったと思います。このインターンシップで得たもの
を自分自身の糧にして今後役立てていきたいです。



関西外国語大学 外国語学部 山田 峰稔

私は NPO 法人の活動に
ついて興味を持ち、インターン
シップに応募しました。不安でし
たが会員の皆さんの温かい指導の
おかげで無事全うすることができました。インター
ンではイベントの進行や企画立案を行う機会があ
りました。そういった経験を通して自分の考えを伝
えるためには、言いたいことを取捨選択し自分の中
で明確化することが大切だとわかりました。
この教訓をぜひ今後に繋げていこうと思います。



龍谷大学 法学部 大北 真也

どうすれば人々に自分たちの
本当に伝えたいことを理解して
もらえるか、イベントスタッフや
企画の立案を通してそれを考え抜
いた14日間でした。社会に出てからだけでなく、
日常生活にも生きる「物事の本質を捉える」ことの
大切さを学ぶことができ、のんびりと夏休みを過ご
すだけでは得られない貴重な経験になりました。



奈良女子大学 理学部 守屋 碧

講師を囲んでお茶を飲みながらワイワイ 「環境ティールーム」で気軽に話そう♪

今年度からスタートした「環境ティールーム」。
原則毎月第2木曜日10時30分から、
サプリ村野南館2階環境情報コーナーで開催
しています。(申込制)

親しい友人同士ではなかなか話題にし辛
い「環境問題」を、お友達と気軽にお茶をす
るような感覚で、お菓子をつまみお茶を飲み
ながらおしゃべりする場です。毎日の暮らし
で感じること、TVのニュースで話題となっ
ていることなどから、身近な環境にまつわる
ホットなテーマを一つ決め、みんなで話しな
がら考えます。

6月は「今大問題！マイクロプラスチックっ
て知ってる?」、7月は「食品ロスを考える」
9月は「多発する自然災害」がテーマでした。
興味のある方はぜひご参加ください。

** 環境ミニ講座 **

前期のミニ講座は、好評のうちに
全メニューが終了しました。
後期もご期待ください!

原則毎月最終の木曜日に「環境ミニ講座」
を開催しています。すっかり定着してきた感
がありますが、毎回の講座で、「“ひらかた環
境ネットワーク会議”を知っていますか?」
実施場所である「枚方市環境情報コーナーを
知っていますか?」の問いに、“ハイ”と手
が上がるのは1、2名と寂しい限りです。
広くひらかた環境ネットワーク会議の活動
や、情報コーナーの存在をもっともっと知っ
てもらえるように頑張りたいと思っています。

その為にも後期のミニ講座も魅力ある内
容を企画しています。(詳細は別途配布のチラ
シをご覧ください)



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

PR効果と戦力の増強!?

環境教育部会の活動は、各学校を廻って「環境出前授業」のアピールを行なう事から始まります。このアピールという事では、今回初めて4月の校長会で「環境出前授業」の紹介をさせていただく事が出来ました。その結果か、新規の学校からも依頼が来る様になりました。美味しいケーキ屋さんの前を通っても、そこに美味しいケーキがあるという情報がなければ、知らないままに通り過ぎてしまいます。美味しいかどうかは自分の判断になりますが、まず、そういう情報を持つ（持ってもらう）事が大事なことだと思います。

私たちも、各学校の管理者や先生方に「ひらかた環境ネットワーク会議」の「環境出前授業」をもっともっと知っていただく為に、機会をとらえて宣伝活動を行なっていきたいと思っています。

今期のくらわんか塾の修了生の中から2名が新規に部会員に加わり、環境問題や活動に関心を持って活動をされています。こうした新しいメンバーと共に、さらなる活動をしていきたいと思っていますので、これからも皆様のご協力、よろしくお願い致します。



まちづくり部会

住みよいまちづくりのために



まちづくり部会では、環境保全のためのまち美化活動を行っています。市の「アダプトプログラム」という制度を活用し、地域の清掃や五・六市後の会場の清掃を行っています。

暑い日や寒い日の清掃は大変ですが、地域の方に喜んでもらえるのはとても嬉しいことです。それに、きれいになった道路などを見ると、爽やかな気分になることができます。

また、活動を見た地域の方々が「自分たちも」と自主的に清掃を始められるなど、まちづくりの輪が少しずつ広がっています。

“きれいなまちは、自分たちの手で。” まちづくり部会では一緒に活動していくメンバーを募集しています。まち美化や景観の保存に興味のある方、私たちと一緒によりよいまちづくりを目指してみませんか。



公共交通部会

第27回「バス！のってスタンプラリー」10月6日(土)実施！

年2回実施している「バス！のってスタンプラリー」。第27回は、「バス！のってスタンプラリーことばをつくろう！」です。イベントとしては、すっかり定着してはいますが、改めてどんな取り組みなのかを、Q&A方式でまとめてご紹介します。

とその前に、皆さんは枚方市が公共交通の利用促進のための取り組みの一つとして「ひらかた交通タウンマップ」を転入世帯に配布していることをご存知ですか？

この“交通タウンマップ”には、バスの使い方や地図式路線図、電車レールなど、公共交通の情報が記載されています。「バス！のってスタンプラリー」はこの“交通タウンマップ”と深く繋がっているのです。ということを知っていただいた上でQ&Aです。

Q：「バス！のってスタンプラリー」はいつ実施しているのですか？

A：毎年春と秋の2回行っています。春は概ね4月初旬に、秋は9月下旬から10月中旬に実施しています。市内の様々なイベントと重ならない様に、日程調整をして実施しています。

Q：なぜこのイベントを行っているのですか？

A：枚方市は、枚方市への転入者に「ひらかた交通タウンマップ」を配布し、公共交通の利用促進を図っているのですが、それだけでは公共交通を使いこなすことは難しいので、公共交通であるバスの使い方を覚えてもらうために、体験型イベントとして行っているのです。併せて、スタンプラリーを通して、市内の素敵な所や史跡など、枚方の魅力も知ってもらえたらと思っています。

Q：ではこのイベントは公共交通利用促進イベントという訳ですか？

A：そうです。ですので、「ひらかた交通タウンマップ」の配布と、「バス！のってスタンプラリー」の取り組みを一緒に行うことで大きな効果が期待できるのです。

Q：では、どうして公共交通の利用促進が必要なのですか？

A：人一人が移動する場合、路線バスや電車は、自家用車での移動と比べ、CO₂の排出量が少ないのです。出かけるときに、公共交通を使うことで、地球温暖化対策にもつながります。また、渋滞対策としても大量輸送が可能な公共交通の利用が、環境面で優れているからです。

Q：今回の「バスのって！スタンプラリー ことばをつくろう！」は、どんなイベントですか？

A：参加者自身が、路線バスを使ってポイントを回り、枚方の魅力を発見・再発見しながら、スタンプポイントに置いてあるスタンプ(文字スタンプ)を集めていくというものです。

今回は「ことばをつくろう！」と題し、集めたスタンプ(文字)で「ことば」をつくります。ゴールでアンケートに答えると、集めたスタンプの個数や作った「ことば」の数により素敵な景品が当たる抽選にも参加できるという内容になっています。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

:::歴史ウォーク:::

招提～出屋敷 東高野街道を歩こう



(日置天神社境内↑)

東高野街道は高野山へと続く、石清水八幡宮から河内長野までの街道です。今回はその中の招提から出屋敷までの約 5km を歩きます。

実施日：11月17日(土) 9:30(出発)～12:00(解散)

集合場所：関西記念病院前バス停前

解散場所：山田池公園

定員：40名 ※少雨決行

参加費：300円(保険・資料代)



(日置天神社のだんじり開時のものです↑)

臨時総会を開催しました

9月27日にサプリ村野内 環境保全研修室にて臨時総会を開催しました。議案は「役員候補者の選任に関する件」及び「定款変更の件」の2件でした。前者は、前任者の移動に伴う役員の交代によるものでしたが後者は、平成28年6月にNPO法の一部が改正によるものでした。

平成28年6月にNPO法の一部が改正され、法務局で毎年行う資産の総額の登記が不要となる代わりに、毎年貸借対照表の公告を行うことが義務付けられました。公告というのは、官報・新聞への掲載や掲示など、文書である事項を広く一般に知らせることです。当法人では、この事項について定款第12章第60条に定めていますが、そこには「事務所の掲示板に掲示するとともに、官報に掲載して行う」とあります。この定款に従うと、貸借対照表を官報でも公告しなければいけないこととなり、それには費用が発生します。そのため費用の発生しない方法での公告が採れるよう定款変更を行いました。

◇◆◇ごみ減量アイデアコンテストから2つ誕生します◇◆◇

昨年度「ごみ減量アイデアコンテスト」を実施しました。覚えておられますか?この取り組みを進めていく中で、市民の皆さんから様々な意見や要望をいただきました。その中で多かったものが「常設のフリマがあったらいいのに」「ごみの出し方が、簡単に一目でわかるものがほしい」でした。

そこで、この2つはぜひ実現させようと検討を重ね、減量業務室とも意見を交換しながら準備を進めてきました。その結果、間もなくごみの出し方リーフレットが、そして来年度には常設の「リユースコーナー」がお目見えします。ご期待ください。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、いずれも過去に取り上げたことのあるテーマ「マイクロプラスチック」「SDGs」です。今回はその後の動き、状況を取り上げてみました。

◆マイクロプラスチック問題 Part2

昨年の会報誌春号(57号)のこの欄で、マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題を取り上げ、プラスチックごみが毎年800万トンもが海へと流出し、マイクロプラスチックとして深刻な海洋汚染と生物へ影響を与えていると書いた。昨今この問題が広く取り上げられるようになってきたが、その背景には、事業者や各国が積極的な施策を打ち出してきたことが挙げられる。インドでは既に一昨年、使い捨てプラスチックの使用禁止を、EUでは今年、2030年までに使い捨てプラスチック包装を域内で無くし、すべてを再利用又は素材としてリサイクルすることを目指すと発表した。企業ではスターバックスや、スカイラーク等がプラスチック製ストローの使用を取りやめるなどの動きが出てきている。

一方、日本政府の動きはと言えば、平成9年度～平成11年度の3年間、廃プラスチックによる海洋汚染防止対策検討のための調査が行われ、その報告書の中で、取り組みも謳われていたにもかかわらず何ら進展を見せていない。それどころか、国土交通省は増え続ける紙おむつ(これの30%～60%はプラスチックと高吸水性ポリマー)を粉碎して下水に流すことを検討しているという。マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題になっている折、こうした政策を打ち出してくる意図が全く理解できないのは筆者だけであろうか。

◆SDGs Part2

すべての国連加盟国が2030年までの達成を目指す17分野にわたる目標SDGs(Sustainable Development Goals)。昨年の会報誌夏号(54号)で取り上げたが、17の分野にはどのようなものがあるのかご存知だろうか。17分野は下記の通りである

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
10. 人や国の不平等を無くそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

以上だが、日本が達成している項目はご存知だろうか。目標4,8,9のわずか3個だ。しかし企業や団体で目標13に向けた取り組みが進もうとしている。期待したい。



eco eco eco eco eco eco eco

今年の夏は自然災害が多発しました。わがまち枚方市でも多くの被害が出た大阪北部地震に始まり西日本豪雨、25年ぶりに「非常に強い勢力」で上陸した台風21号、そしてその翌日に起きた北海道胆振東部地震などなど。こうした自然災害からエコライフ考えました。

大量のごみを出さないために…

津波や、浸水、土砂災害などが発生すると、被災家屋からは大量のごみが出てきます。

どうしても出てくるものは仕方ないとしても、普段から無駄なもの・いらないものをため込まない暮らしを心がけることで、災害時における災害ゴミは減らせます。

ちなみに、災害ゴミは無料で回収してもらえてってご存知でしたか？



災害に備えた非常食どうする？

災害に備え、水や食料を準備しておきたいと思うものの、いったいどのぐらいどのようにしてと悩んでしまうことはありませんか？備蓄品の量や内容については様々な所で紹介されているので、ここでは触れませんが、備蓄の習慣づけと、備蓄品を無駄にしないためのアイデアを参考までに！

- ・非常袋は一人で準備しないで、家族で話し合って準備
 - ・非常袋の置き場所をどこにするか家族で相談
 - ・中身を家族で確認
 - ・食料は消費期限までに新しいものに入れ替えるため、「備蓄食料を食べる日」を何時にするか、家族で決める。
- この日は、いつもより「エコな暮らし」になるはずです。



ひとこと



「今年の夏は暑かった～！」と、環境家計簿「我が家のエコノート」に取り組んでおられる多くの方から聞かれました。今夏の猛暑は、その後に起きた西日本豪雨や大型台風、巨大ハリケーンとともに「気候変動？温暖化が進んでいるせい？」と思わずにはいられませんでした。

ところで、環境情報コーナーには、多くの市民の方が来てくださいます。エコノート提出、ミニ講座参加、また、小さなお子さんと一緒に昆虫標本や水槽の魚を見になど。そうした方々と環境問題や温暖化の話もしながら(勿論雑談も)一緒に温暖化対策に取り組んでいけたらと思っています。



ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第59号

平成30年10月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者:伊丹 均 編集責任者:丸井 晶子